

## 追加説明資料

- |                             |      |
|-----------------------------|------|
| 1. 砂防事業(費用対効果の考え方他) .....   | P 1  |
| 2. 都市計画道路池上下宮線街路事業 .....    | P 2  |
| 3. 都市計画道路大阪岸和田南海線(府中工区)街路事業 | P 8  |
| 4. 港湾事業一覧 .....             | P 14 |
| 5. 堺第7-3区「共生の森」整備事業 .....   | P 15 |
| 6. 泉州港 北港地区 港湾整備事業 .....    | P 29 |
| 7. 蜻蛉池公園整備事業 .....          | P 37 |

# 砂防事業に関する費用対効果の考え方

上段：当初 (a)

中段：今回 (b)

下段：増減費 (b/a) %

## 費用対効果の変動

|   | 箇所名           | B/C  | B (百万円)    |       |       | C (百万円)<br>現在<br>価値化後 | 人口分布の変化 (人) |         |        |        |
|---|---------------|------|------------|-------|-------|-----------------------|-------------|---------|--------|--------|
|   |               |      | 現在<br>価値化後 | 事業効果  |       |                       | ～17歳        | 18～60歳  | 61～66歳 | 67歳～   |
|   |               |      |            | 総計    | 内人的被害 |                       |             |         |        |        |
| 1 | 鍋田川<br>(旧 寺川) | 5.12 | 1,392      | 1,438 | 700   | 272                   | 24,591      | 80,925  | 9,132  | 13,506 |
|   |               | 4.73 | 1,349      | 1,275 | 502   | 285                   | 21,985      | 69,755  | 11,850 | 23,944 |
|   |               | 92.5 | 96.9       | 88.7  | 71.7  | 104.8                 | 89.4        | 86.2    | 129.8  | 177.3  |
| 2 | 古淵川           | 5.88 | 1,076      | 1,144 | 567   | 183                   | 17,902      | 50,959  | 7,042  | 13,957 |
|   |               | 5.47 | 1,055      | 1,027 | 423   | 193                   | 17,378      | 48,228  | 7,566  | 17,347 |
|   |               | 92.9 | 98.1       | 89.8  | 74.6  | 105.5                 | 97.1        | 94.6    | 107.4  | 124.3  |
| 3 | 北川            | 2.30 | 1,627      | 1,434 | 337   | 707                   | 2,293       | 6,976   | 992    | 2,618  |
|   |               | 2.20 | 1,591      | 1,396 | 268   | 722                   | 1,637       | 5,886   | 1,278  | 2,849  |
|   |               | 95.6 | 97.8       | 97.4  | 79.5  | 102.1                 | 71.4        | 84.4    | 128.8  | 108.8  |
| 4 | 権現川           | 2.83 | 565        | 447   | 94    | 200                   | 10,995      | 33,319  | 5,020  | 7,588  |
|   |               | 2.63 | 546        | 425   | 72    | 208                   | 10,396      | 29,190  | 5,406  | 12,562 |
|   |               | 92.9 | 96.7       | 95.1  | 76.6  | 104.0                 | 94.6        | 87.6    | 107.7  | 165.6  |
| 5 | 奥山大谷          | 2.82 | 567        | 445   | 91    | 201                   | 14,144      | 45,338  | 6,312  | 11,240 |
|   |               | 2.64 | 552        | 428   | 74    | 209                   | 12,453      | 41,200  | 7,080  | 14,040 |
|   |               | 93.6 | 97.4       | 96.2  | 81.3  | 104.0                 | 88.0        | 90.9    | 112.2  | 124.9  |
| 6 | 津田川<br>第1支溪   | 2.36 | 391        | 394   | 181   | 166                   | 38,145      | 113,727 | 16,126 | 32,887 |
|   |               | 2.17 | 360        | 363   | 147   | 166                   | 36,382      | 106,334 | 17,360 | 39,158 |
|   |               | 92.1 | 92.1       | 91.9  | 81.2  | 100.0                 | 95.4        | 93.5    | 107.7  | 119.1  |

○織物工場勤務者は人的被害軽減額に含まれていない。(古淵川)

○災害時要援護者施設は1家屋として人的被害軽減額を計上(権現川・奥山大谷)

# 都市計画道路池上下宮線 街路事業

再評価要件 事業採択後10年間経過

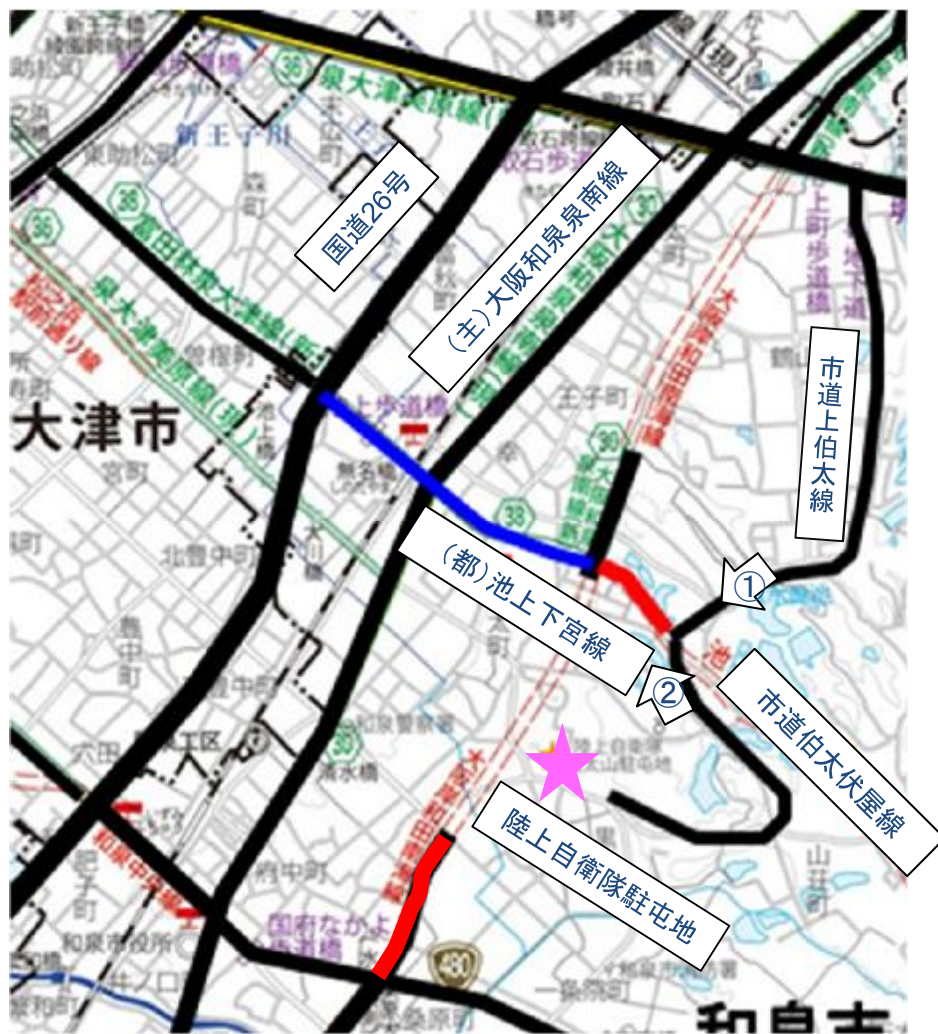
## 事業概要 バイパス整備

- ・広域緊急交通路に指定されている国道26号と大阪和泉泉南線と接続することにより、広域的な幹線道路ネットワーク機能の強化と防災機能の強化を図る。
- ・供用済みの市道と接続することにより、地域のネットワーク機能の強化を図るとともに、陸上自衛隊駐屯地からのアクセス性が向上し、緊急時の救援活動等に寄与する。



# 都市計画道路池上下宮線 街路事業

## 周辺の状況



## ☆和泉市施行区間の供用開始

①都市計画道路上伯太線(市施行)が平成22年6月に全線で供用



②市道伯太伏屋線の拡幅が完了し、平成23年3月に供用



# 都市計画道路池上下宮線 街路事業

## 事業内容

事業延長：0.4km、道路幅員：W=20~23m

(2車線、両側自歩道)

### ○工期 H12 ~ H28 (H22)【6年延期】

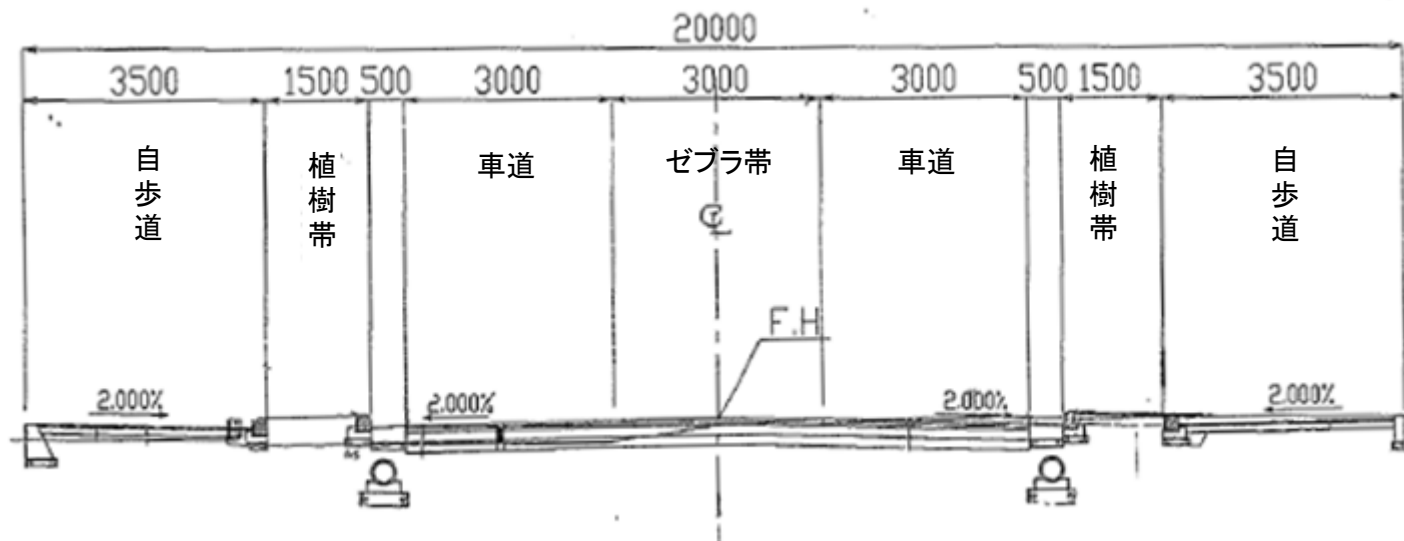
〈変更理由〉・事業用地の地図訂正による遅延

・財政再建プログラム(案)に伴うペースダウン

### ○全体事業費

22.3億円(国12.3億円、府10億円)【変更なし】

### ○費用便益比 3.03



# 都市計画道路池上下宮線 街路事業

## 費用便益分析結果

＜具体的な便益内容＞ 走行時間短縮・走行費用短縮・交通事故減少  
 ＜受益者＞ 道路利用者

**費用便益比 B/C=3.03**

| 便益 (B)              | 走行時間<br>短縮便益 | 走行経費<br>減少便益 | 交通事故<br>減少便益 | 合 計    |
|---------------------|--------------|--------------|--------------|--------|
| 基準年                 | 平成21年度       |              |              |        |
| 供用年                 | 平成28年度       |              |              |        |
| 基準年における<br>現在価値 (B) | 43.5億円       | 10.6億円       | 3.7億円        | 57.8億円 |

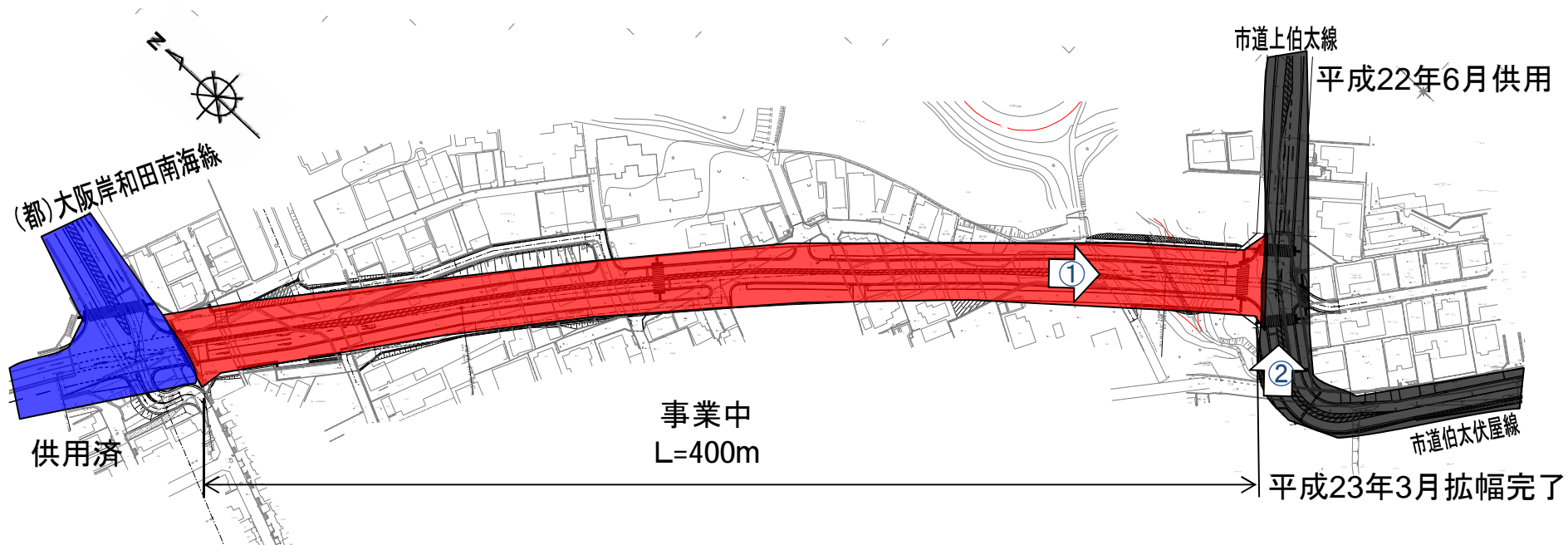
| 費用 (C)              | 事業費    | 維持管理費 | 合 計    |
|---------------------|--------|-------|--------|
| 基準年                 | 平成21年度 |       |        |
| 単純合計                | 22.3億円 | 0.9億円 | 23.2億円 |
| 基準年における<br>現在価値 (C) | 18.8億円 | 0.3億円 | 19.1億円 |

※費用分析マニュアル(国土交通省平成20年11月)により算出

※事業認可は平成16年度から平成27年度であるが、供用は平成28年度を予定

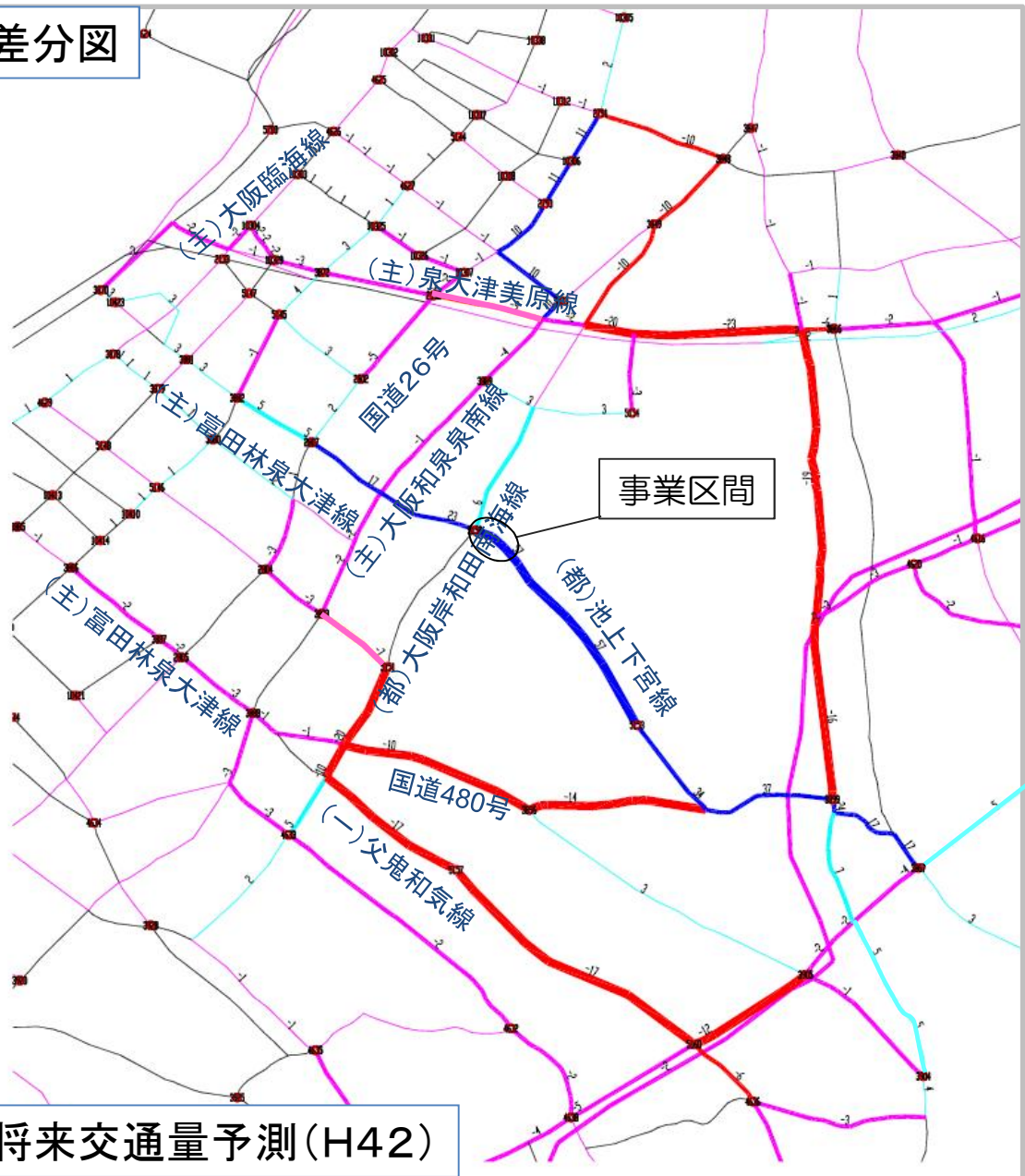
# 都市計画道路池上下宮線 街路事業

○進捗状況 ◆用地:53%、工事:0%  
・平成26年度末に用地買収完了、平成28年度完了予定。



# 都市計画道路池上下宮線 街路事業

差分図



将来交通量予測(H42)

差分図

各リンクについて、整備有無による交通量の差を図化したもの

交通量が減少している箇所は、+便益が発生

※当該箇所の整備により周辺道路の交通量が減少

— 交通量増加  
— 交通量減少

| 増減(上+下) | 色   |
|---------|-----|
| -500 以上 | 赤   |
| -100 以上 | 赤   |
| -50 以上  | ピンク |
| -10 以上  | ピンク |
| 0 以上    | 黒   |
| 10 以上   | 水色  |
| 50 以上   | 水色  |
| 100 以上  | 青   |
| 500 以上  | 青   |

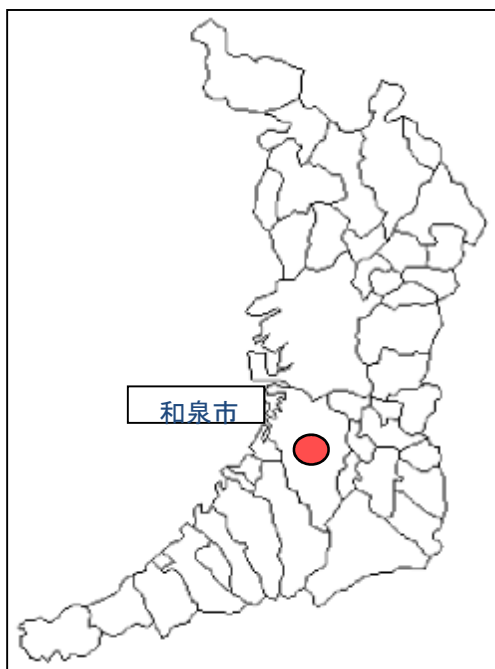


# 都市計画道路大阪岸和田南海線(府中工区) 街路事業

再評価要件 事業採択後10年間経過

## 事業概要 バイパス整備

- ・広域的な幹線道路ネットワーク機能の強化と防災機能の強化を図る。
- ・並走する現道の主要地方道大阪和泉泉南線の狭隘区間の交通を分散し歩行者等の安全の確保を図る。



# 都市計画道路大阪岸和田南海線(府中工区) 街路事業

周辺の状況



①和泉中央線  
H23.3 JRアンダーパス部供用

②大阪岸和田南海線  
H24.3 部分供用

③現道の大阪和泉泉南線は歩道がなく  
狭隘である



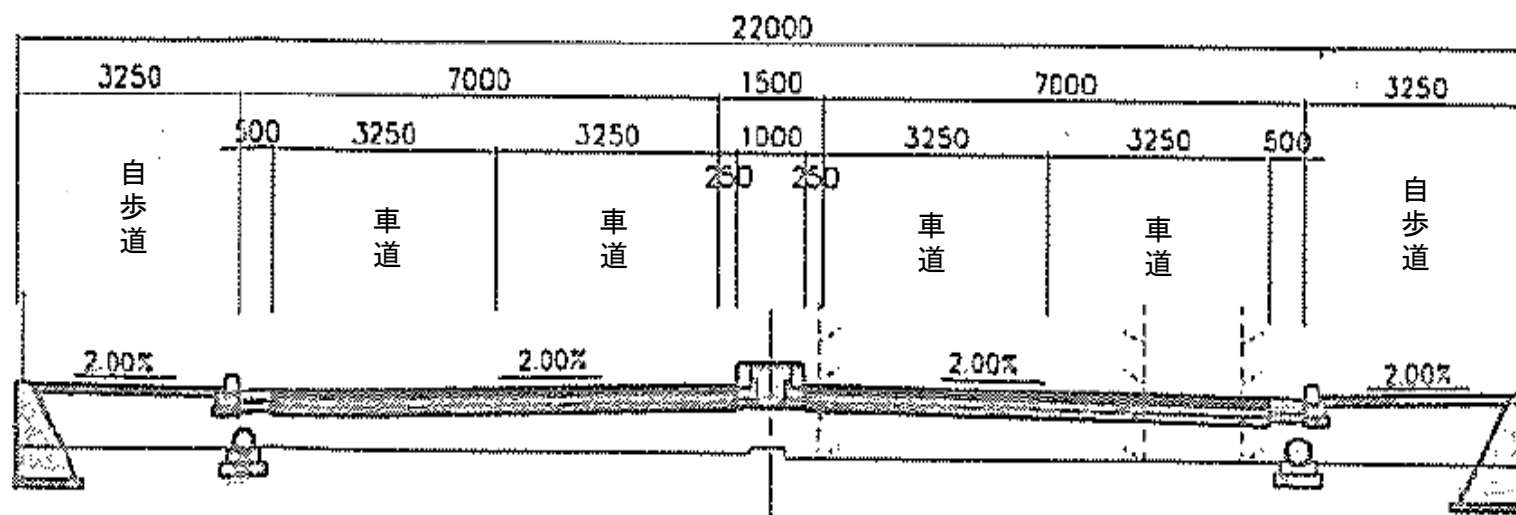
# 都市計画道路大阪岸和田南海線(府中工区) 街路事業

## 事業内容

事業延長：0.9km、道路幅員：W=22~24.5m

(4車線、両側自歩道)

- 工期 H13 ~ H28 (H22)【6年延期】  
〈変更理由〉・用地境界の確定に日数を要したため  
・埋蔵文化財調査の長期化
- 全体事業費  
40億円 (国22億円、府18億円)【変更なし】
- 費用便益比 8.89



# 都市計画道路大阪岸和田南海線(府中工区) 街路事業

## 費用便益分析結果

＜具体的な便益内容＞ 走行時間短縮・走行費用短縮・交通事故減少  
 ＜受益者＞ 道路利用者

**費用便益比 B/C=8.89**

| 便益 (B)              | 走行時間<br>短縮便益 | 走行経費<br>減少便益 | 交通事故<br>減少便益 | 合 計     |
|---------------------|--------------|--------------|--------------|---------|
| 基準年                 | 平成21年度       |              |              |         |
| 供用年                 | 平成28年度       |              |              |         |
| 基準年における<br>現在価値 (B) | 272.3億円      | 39.0億円       | 19.7億円       | 331.0億円 |

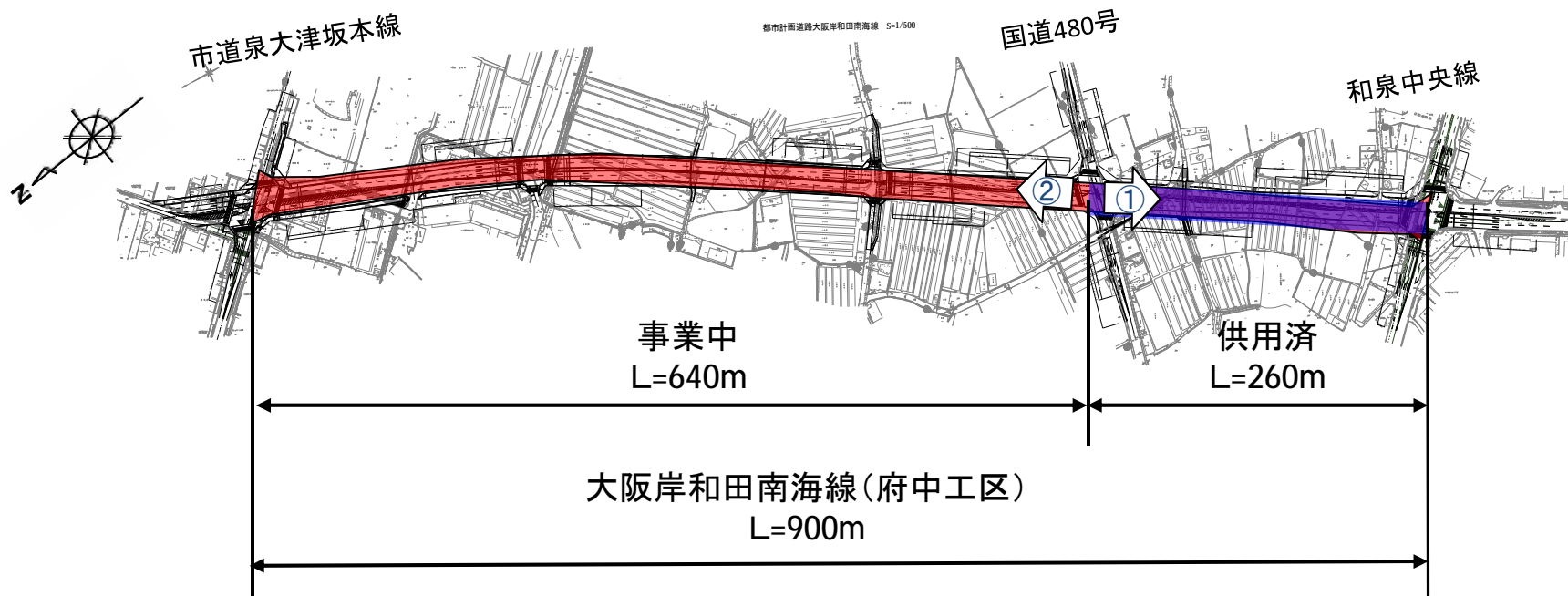
| 費用 (C)              | 事業費    | 維持管理費 | 合 計    |
|---------------------|--------|-------|--------|
| 基準年                 | 平成21年度 |       |        |
| 単純合計                | 40.0億円 | 2.3億円 | 42.3億円 |
| 基準年における<br>現在価値 (C) | 36.5億円 | 0.7億円 | 37.2億円 |

※費用分析マニュアル(国土交通省平成20年11月)により算出

※事業認可は平成13年度から平成27年度であるが、供用は平成28年度を予定

# 都市計画道路大阪岸和田南海線(府中工区) 街路事業

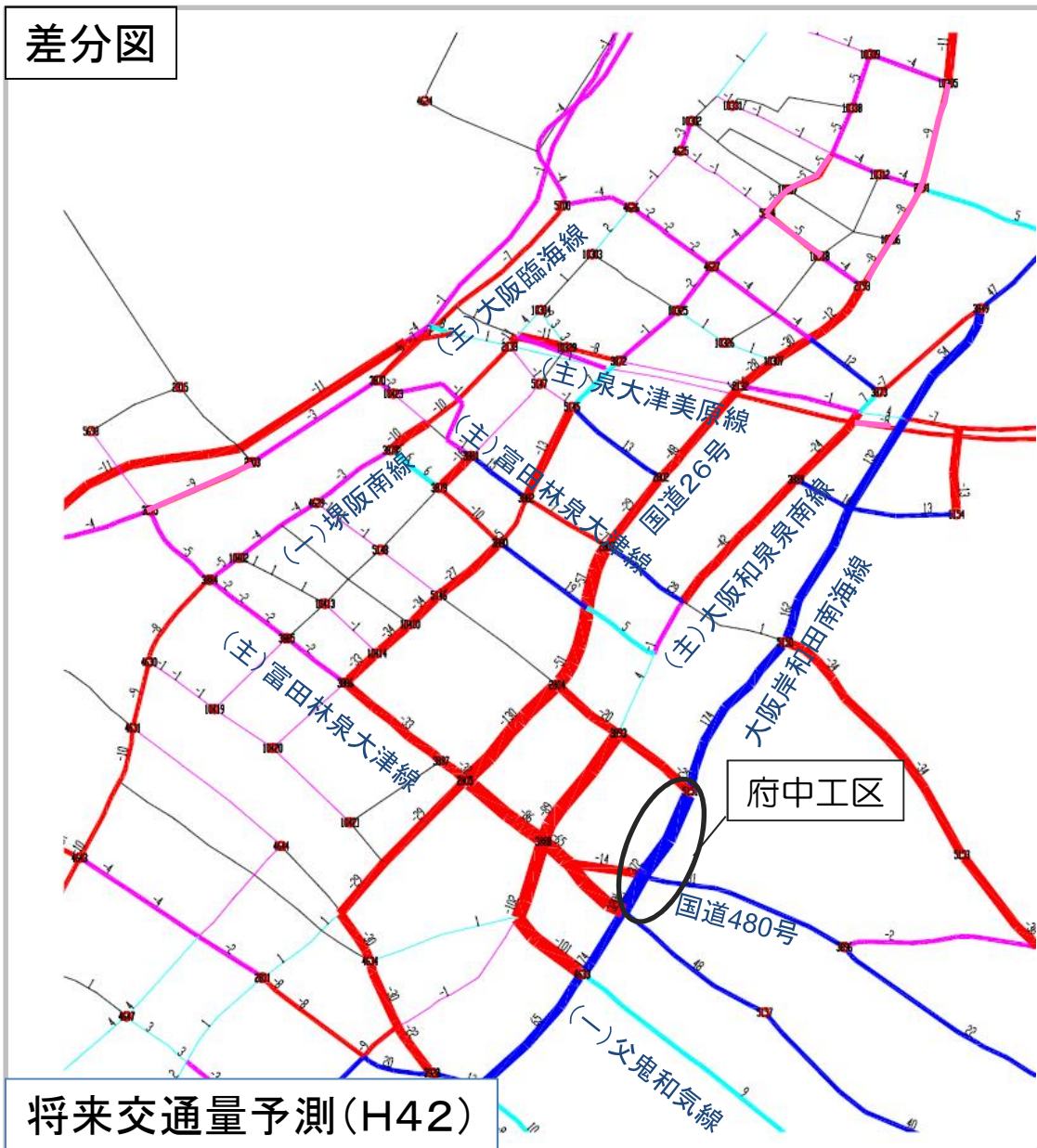
○進捗状況 ◆用地:47%、工事:25%  
・平成26年度末に用地買収完了、平成28年度完了予定。



和泉寺跡より文化価値の高い文字瓦が出土し、文化財調査が長期化した。当該箇所は既に供用済

# 都市計画道路大阪岸和田南海線(府中工区) 街路事業

差分図



差分図

各リンクについて、整備有無による交通量の差を図化したもの

交通量が減少している箇所は、+便益が発生

※当該箇所の整備により周辺道路の交通量が減少

— 交通量増加  
— 交通量減少

| 増減(上+下) | 色   |
|---------|-----|
| -500 以上 | 赤   |
| -100 以上 | 赤   |
| -50 以上  | ピンク |
| -10 以上  | ピンク |
| 0 以上    | 黒   |
| 10 以上   | 水色  |
| 50 以上   | 水色  |
| 100 以上  | 青   |
| 500 以上  | 青   |

# 港湾事業一覧

|   | 事業名                      | 事業内容  | 事業費<br>(億円) | 完成予<br>定年度  | B/C          | 進捗率        | 対応方針原案 |
|---|--------------------------|---|-------------|-------------|--------------|------------|--------|
| 1 | 堺第7-3区<br>「共生の森」<br>整備事業 | 緑地面積約100ha  | 4.0         | 未定<br>(H22) | —<br>(165.1) | 工事54 %(-)  | 休止     |
| 2 | 泉州港<br>北港地区<br>港湾整備事業    | 岸壁工(-7.5m)L=160m<br>岸壁工(-4.5m)L=130m<br>防波堤工 L=200m<br>護岸工 L=100m<br>埠頭用地 A=2.9ha | 130         | 未定<br>(未定)  | —<br>(-)     | 工事19%(19%) | 休止     |

※( )内は、前回評価時点

## ■上位計画及び関連事業

|      | 堺第7-3区「共生の森」整備事業  | 泉州港北港地区港湾整備事業   |
|------|---|---|
| 上位計画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>堺泉北港港湾計画[H18.2]</li> <li>大阪府都市整備中期計画(案)<br/>[H24.3]</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>泉州港港湾整備計画[H9.8]</li> <li>大阪府営港湾長期構想あすぽ一と21<br/>[H17.6]</li> <li>大阪府都市整備中期計画(案)[H24.3]</li> </ul> |
| 関連計画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>堺第7-3区共生の森づくり事業</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>関西国際空港2期事業</li> </ul>  |

# 堺第7-3区「共生の森」整備事業

## 大阪府の港湾について

### ■大阪府が管理する港湾

- 国際拠点港湾・・・「堺泉北港」
- 重要港湾・・・・・・「阪南港」
- 地方港湾・・・・・・「二色港」「泉佐野港」  
「尾崎港」「淡輪港」  
「深日港」「泉州港」

計8港湾

### ○国際拠点港湾「堺泉北港」

- 堺市、泉大津市、高石市の3市にまたがる約9千haの港湾区域を有する港
- 堺泉北臨海工業地帯を抱える工業港で関西の工業生産やエネルギー供給を支える

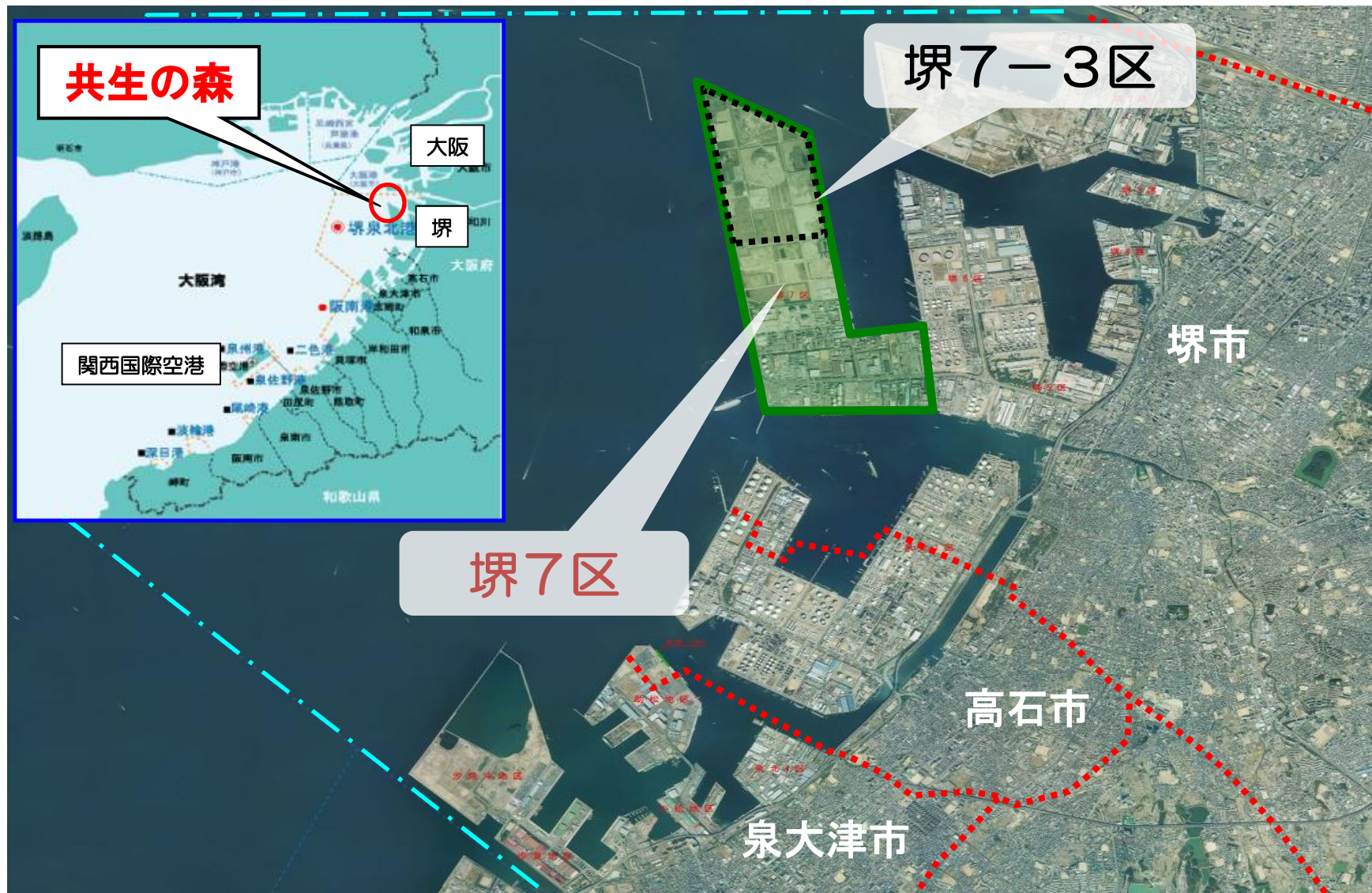
### ○重要港湾「阪南港」

- 忠岡町・岸和田市・貝塚市の2市1町にまたがる約1千700haの港湾区域を有する港
- 木材コンビナートを有する「木材港地区」  
外貿バースを有する「新貝塚埠頭」、現在整備中の「阪南2区」など





# 堺泉北港 全景



# 堺第7-3区 「共生の森」



# 「共生の森」配置図



# 堺第7-3区『共生の森』について

## <「共生の森」事業とは？>

大阪湾に臨んで広がる『産業廃棄物処分場・堺第7-3区』の広大なスペースに、「大都市圏における都市環境インフラの再生」として、長い時間をかけて自然の再生力を活かしながら、府民・NPO・企業等と共同して森づくりを行う事業です。



# 「共生の森づくり」の進め方

【主体の変移】

短期（H16～H22）

NPO・ボランティア・行政との協働のための基盤づくり

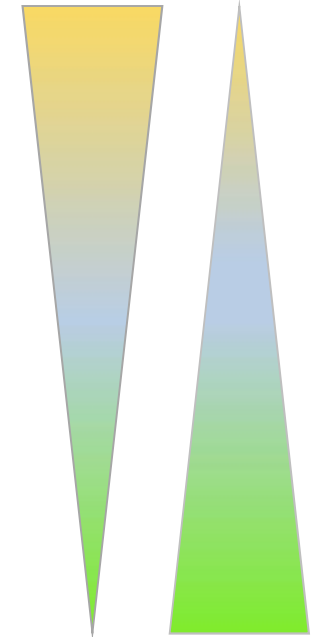
中期（H23～H26）

NPO・ボランティア等の森づくり活動を支援

長期（H27～22世紀）

NPO・ボランティア等が主体の森づくり

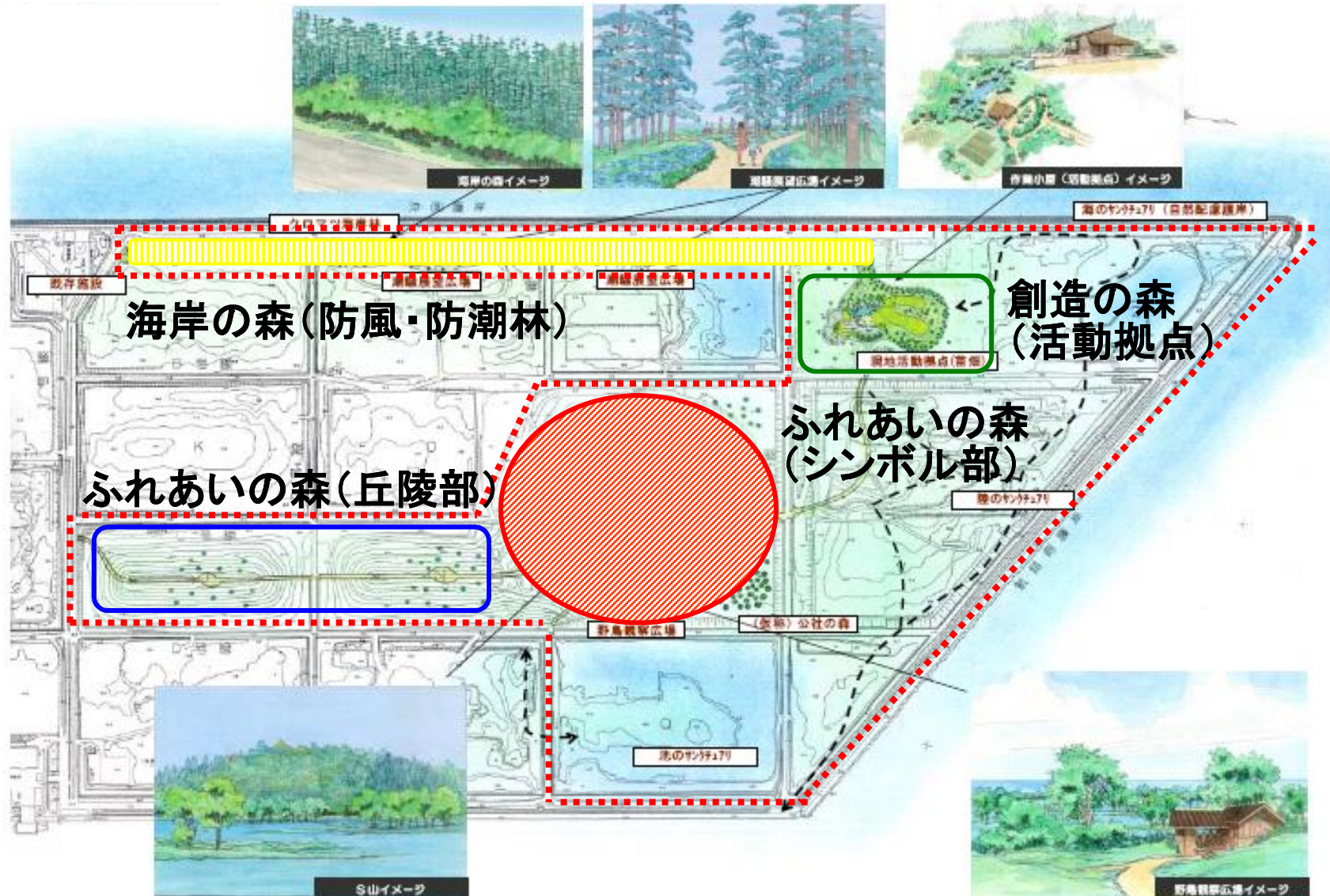
行政・府民



行政・府民

100年かけて森づくり(22世紀への贈り物)

# 「共生の森」全体イメージ



# 経緯と経過

- S49. 堺第7－3区に産業廃棄物の埋立（280ha）を開始  
（平成16年3月 産業廃棄物の受入れ終了）
- H13. 都市再生本部で決定された「都市再生プロジェクト」において、「大都市圏における都市環境インフラの再生」として、「森」（100ha）を整備することを位置付け
- H14～15  
学識経験者、有識者、NPO代表者、関係行政機関から構成された委員会を設置し、整備コンセプトや事業手法などを基本計画として取りまとめた。
- H16. 事業着手
- H20. 財政再建プログラム案により一時休止

# 再評価要件

事業採択後10年経過

## 事業の目的

- ・ 廃棄物処分場跡地に、既存の丘陵地や池等の活用を図り、府民、NPO等とともに、大規模な森、ビオトープ空間等の自然環境を創出・再生することにより、臨海部で失われた水と緑のネットワークの構築、生態系の回復、環境学習の場、自然とのふれあいの場の拡大を図ること。



(現地での植樹・草刈作業の様子)



# 事業概要

## 1. 整備内容

- 緑地：面積約100ha
  - 海岸の森（5ha）
  - 創造の森（9ha）
  - ふれあいの森(ツボル部17ha)
  - 活動拠点施設

## 2. 全体事業費

事業費：約4.0億円  
 (国：2億円、府：2億円)  
 【内訳】

|      |        |
|------|--------|
| 調査費等 | 約0.5億円 |
| 工事費  | 約3.5億円 |

## 3. 工期

- H16～未定（H22）※平成20年度から休止

「大阪府都市整備中期計画(案)」の重点化事業に掲げる津波高潮対策事業が概成する平成29年度を目途に事業計画の見直し及び事業再開の検討を行う。

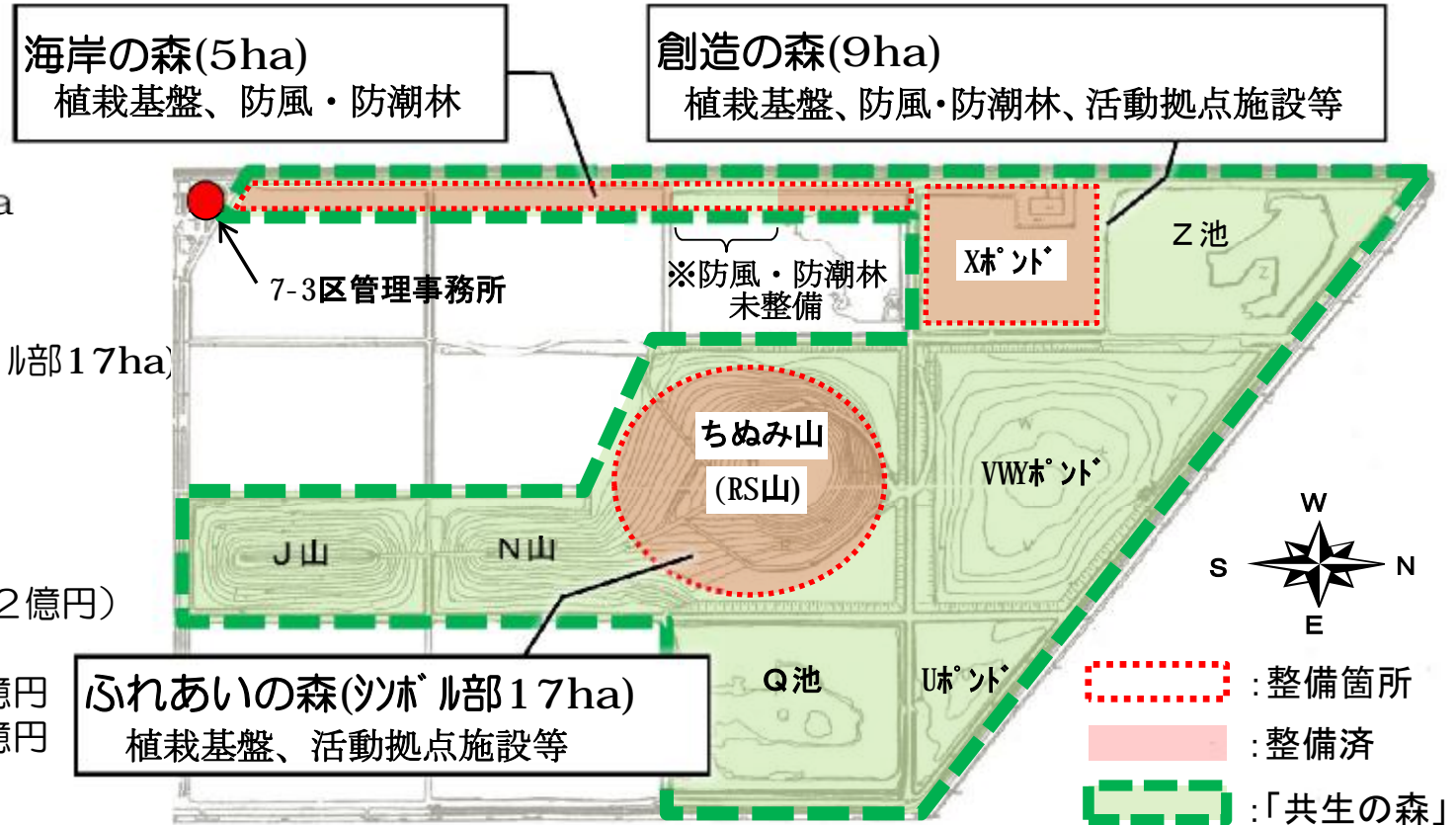
## 4. 進捗率

|    |     |               |
|----|-----|---------------|
| 全体 | 55% | (2.2億円/4.0億円) |
| 調査 | 60% | (0.3億円/0.5億円) |
| 工事 | 54% | (1.9億円/3.5億円) |

## 5. 費用便益比

— (165.1)

※事業休止方針であるため、算出していない



### ◆整備済み

- 海岸の森（植栽基盤、防風・防潮林(一部を除く※)）
- 創造の森（植栽基盤、防風・防潮林、活動拠点施設-駐車場）
- ふれあいの森（植栽基盤）

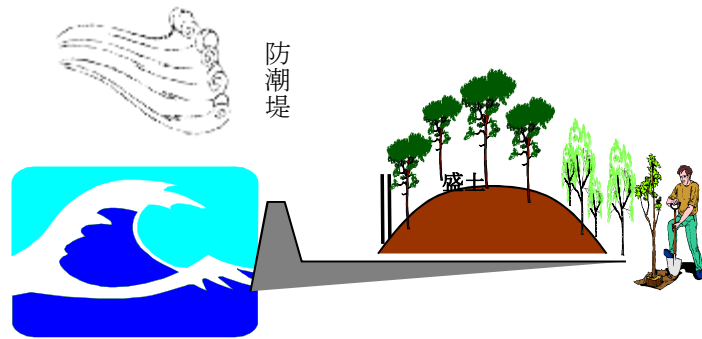
### ◆未整備

- 海岸の森（一部の防風・防潮林※）
- 創造の森（活動拠点施設-作業小屋、園路）
- ふれあいの森（活動拠点施設-野鳥観察小屋、園路）

# 整備状況

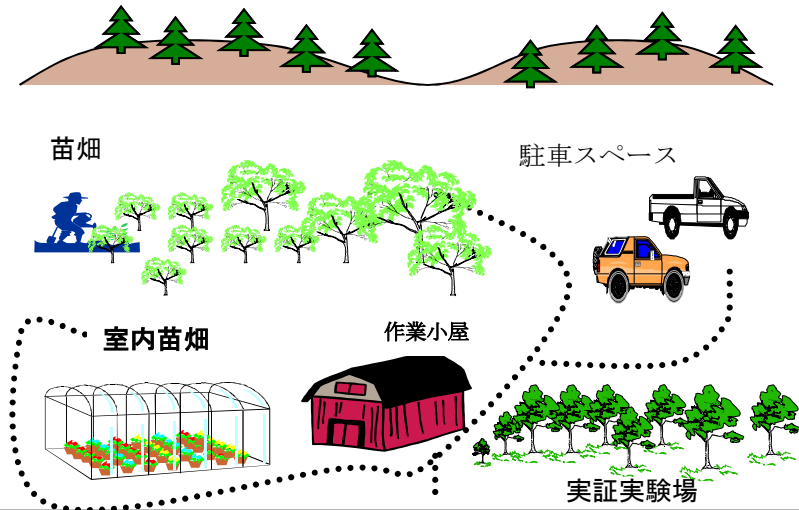
## 防風・防潮林

後背地に対して潮風の影響が少なくなるよう、海岸沿いに盛土造成したうえでクロマツなどの苗木などを植栽し、海が眺められる防風・防潮林をつくる



## 活動拠点

- NPO・ボランティア等の活動拠点として、作業小屋や苗畑・園路などを整備
- 企業・大学の実証研究フィールドとしても活用
- 森づくりのノウハウを蓄積



# 整備状況（防風・防潮林） 一部未整備



海岸の森 <整備後>

防潮林の苗木



未整備箇所



# 整備状況（活動拠点） 一部未整備



創造の森（ちぬみ山から見た活動拠点）



創造の森（活動拠点-駐車場）

## 今後の方針

n 都市整備中期計画重点化事業（津波高潮対策事業）の概成（H29）後、事業計画、事業再開の再検討



n 大阪府建設事業評価審議会



n 堺第7-3区「共生の森」整備事業の再開の判断

# 泉州港 北港地区 港湾整備事業

## 大阪府の港湾について

### ■大阪府が管理する港湾

- 国際拠点港湾・・・「堺泉北港」
- 重要港湾・・・・・・「阪南港」
- 地方港湾・・・・・・「二色港」「泉佐野港」  
「尾崎港」「淡輪港」  
「深日港」「泉州港」

計8港湾

### ○国際拠点港湾「堺泉北港」

- 堺市、泉大津市、高石市の3市にまたがる約9千haの港湾区域を有する港
- 堺泉北臨海工業地帯を抱える工業港で関西の工業生産やエネルギー供給を支える

### ○重要港湾「阪南港」

- 忠岡町・岸和田市・貝塚市の2市1町にまたがる約1千700haの港湾区域を有する港
- 木材コンビナートを有する「木材港地区」  
外貿バースを有する「新貝塚埠頭」、現在整備中の「阪南2区」など



# 泉州港

【位置図】



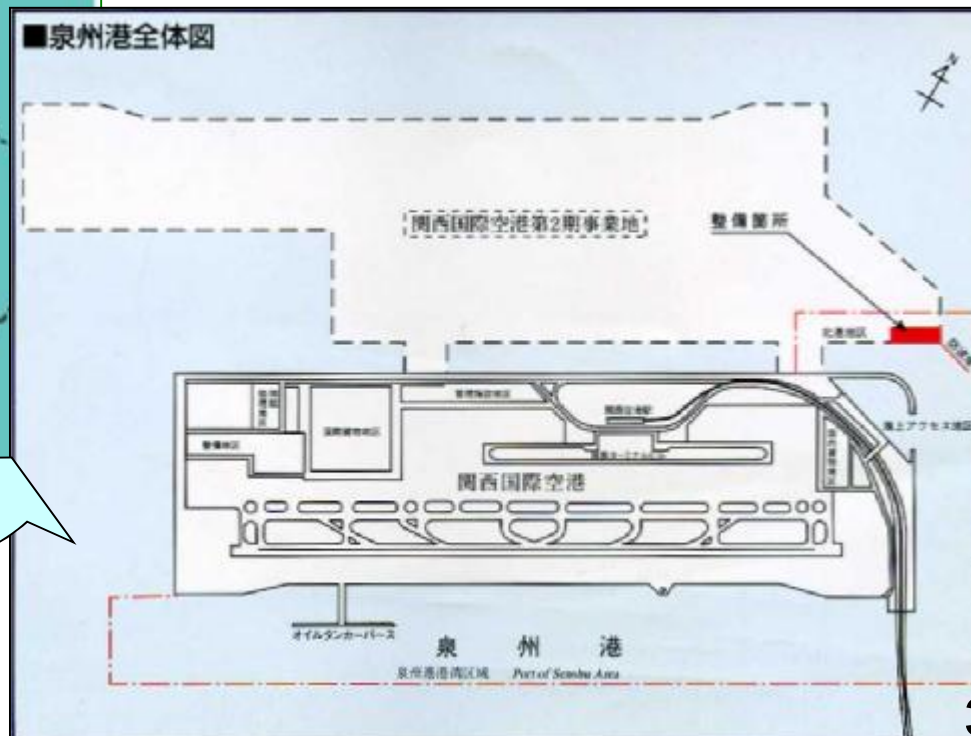
【泉州港の概要】

- 平成6年7月 府営港湾6港目の地方港湾として指定
- 泉州沖約5kmの関西国際空港の東側に位置

凡 例

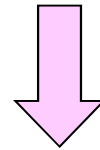
--- 港湾区域

■泉州港全体図



# 再評価要件：再評価後5年経過 事業の目的

- ・ 関西国際空港2期事業の展開に伴う旅客・貨物の増加に対応する海上アクセス基地
- ・ 海上国際空港に直結する港湾として航空機と貨物船とを組み合わせた嵩高大重量貨物輸送(SEA & AIR)を可能にする。
- ・ ゆとりと豊かさを求める人々のニーズに対応した航空利用とクルージングを組み合わせた(FLY&CRUISE)を実現する。



『泉州港岸壁』の整備



## 経 過

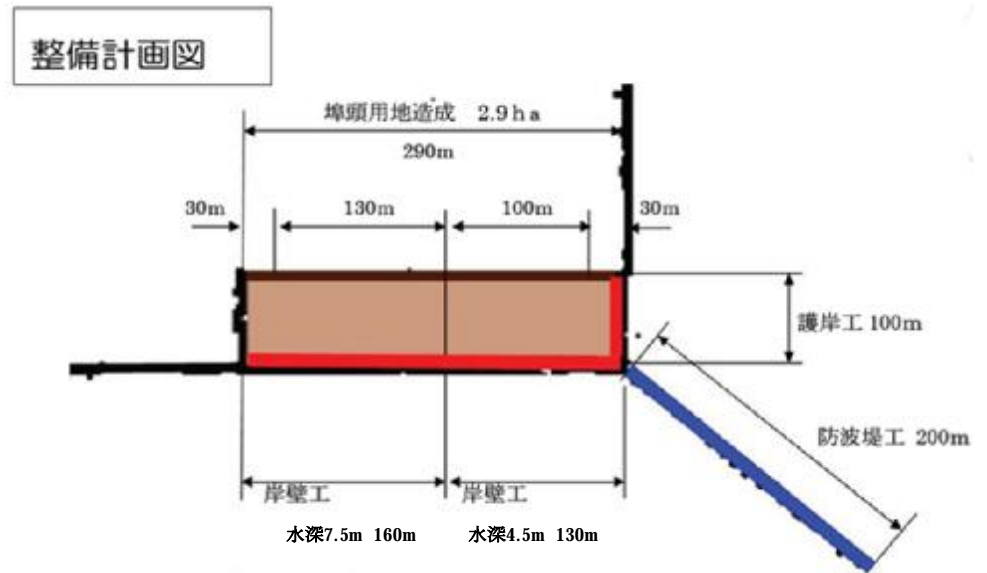
- n H6.7.11 泉州港港湾区域の設定（同時に大阪府が港湾管理者となる）
- n H6.9.4 関西国際空港開港
- n H9.1 関西国際空港2期事業の推進方策の一つとして港湾事業を導入
- n H11.9.10 泉州港整備 現地着手
- n H19.8.2 関西国際空港第2滑走路の供用開始
- n H20. 財政再建プログラム案により一時休止  
建設事業評価審議会【再評価】
- n H25. 建設事業評価審議会【再々評価】



# 事業概要

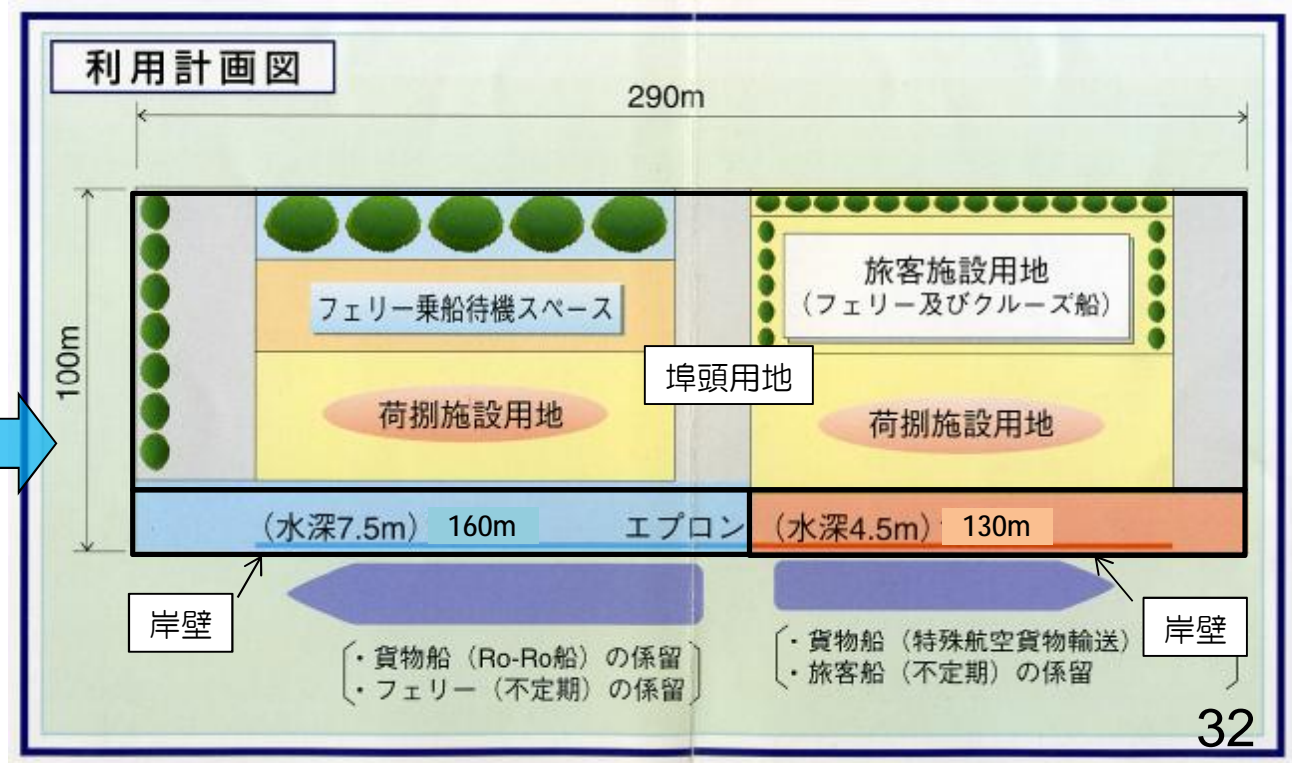
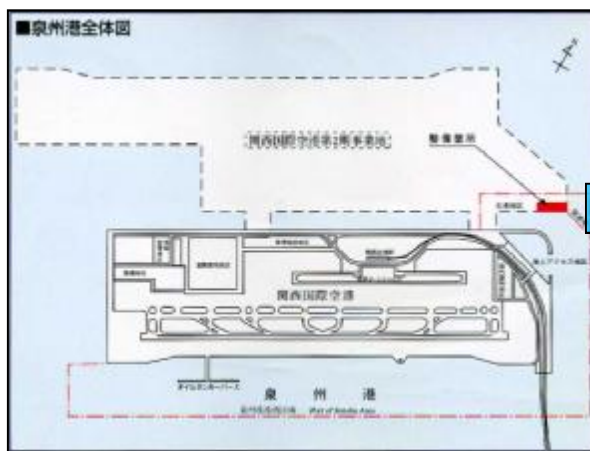
## 1. 整備内容

- 岸壁：2バース
- (-7.5m・160m、-4.5m・130m 各1バース)
- 防波堤：延長200m
- 護岸：延長100m
- 埠頭用地造成：2.9ha



## 2. 全体事業費

約130億円【変更なし】  
〔国40億円、府費90億円〕



# 事業概要

## 3. 工期

・H11～未定（H22）

※平成20年度から休止

「大阪府都市整備中期計画（案）」の重点化事業に掲げる津波高潮対策事業が概成する平成29年度を目途に事業計画の見直し及び事業再開の検討を行う

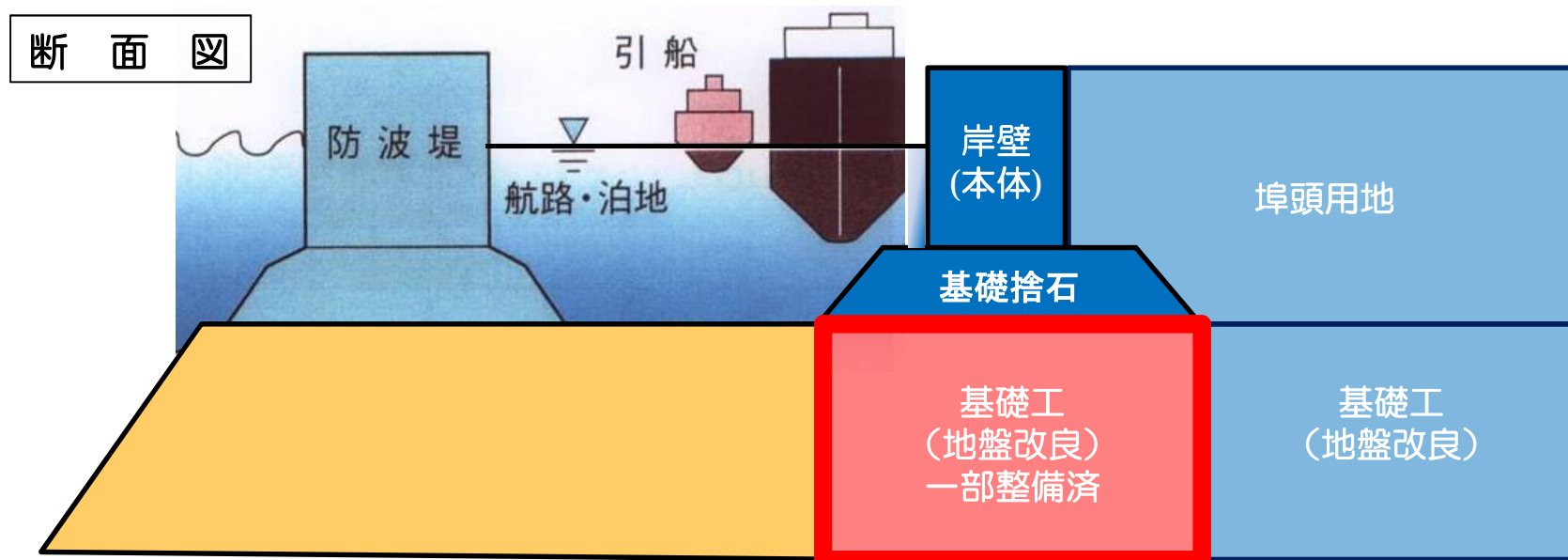
## 4. 進捗率

◇19%【変更なし】

岸壁工（基礎工）の一部を整備

※平成20年度に休止

## 5. 費用便益比 事業休止方針であるため、算出していない



# 整備状況 進捗率 19%(H25.3末現在)



# 整備イメージ



## 今後の方針

n 都市整備中期計画重点化事業（津波高潮対策事業）の概成（H29）後、事業計画、事業再開の再検討

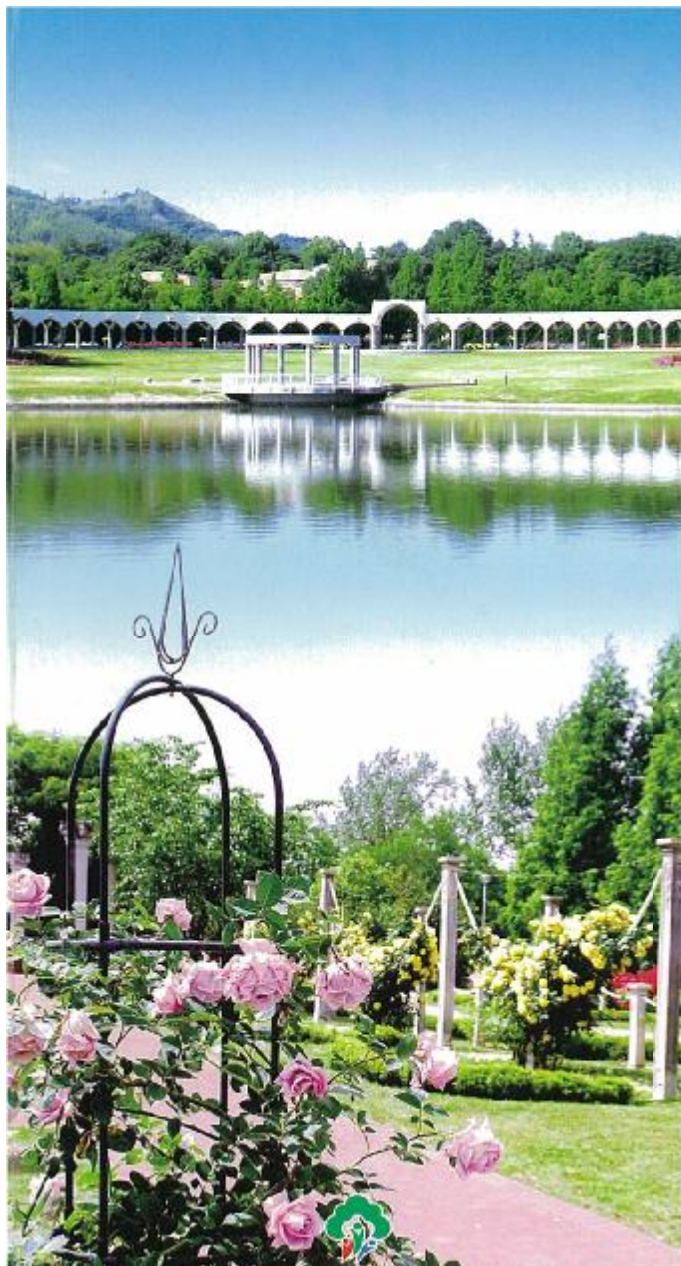


n 大阪府建設事業評価審議会



n 泉州港整備事業の再開の判断

# 蜻蛉池公園整備事業



# 蜻蛉池公園整備事業（概要）



再評価要件 再評価後5年間経過

## 事業概要

泉南地域のレクリエーション施設の拠点として位置づけ、都市周辺の自然環境を保全する重要な水と緑のオープンスペースとして整備する

## 上位計画

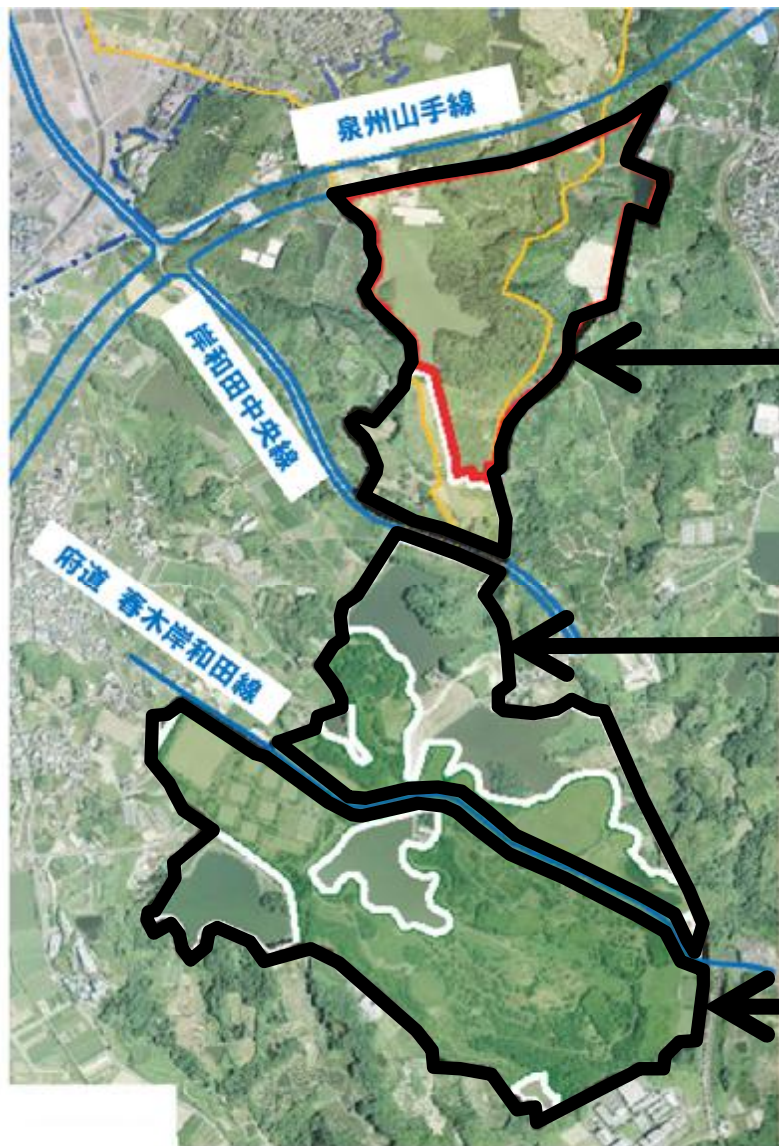
- ・大阪府公園基本構想[H5.11]
- ・みどりの大阪推進計画[H21.12]
- ・大阪府都市整備中期計画(案)[H24.3]

## 関連計画

- ・岸和田市地域防災計画[H24.3修正]

# 蜻蛉池公園整備事業（概要）

蜻蛉池をはじめとするため池と既存の樹林地を活かした、3つのゾーンで構成



## 「森のゾーン」

- ◆ 駐車場
- ◆ 箱谷池周辺整備等

## 「丘陵ゾーン」

- ◆ 大芝生広場
- ◆ ふれあいの森
- ◆ 水辺の広場

## 「広場ゾーン」

- ◆ 子供の国
- ◆ テニス村
- ◆ 花木園
- ◆ あじさい園など



# 蜻蛉池公園整備事業（概要）

## 事業内容

都市計画決定面積 **124.7ha**  
（内事業認可面積 **92.8ha**）  
開設面積 **53.2ha**

## ○工期

昭和**55**年度～平成**34**年度  
（認可区域：平成**29**年度【変更なし】）

## ○全体事業費

**557.3**億円【変更なし】  
（国**210.6**億円、府**346.7**億円）

## ○費用便益比

**1.53**（**1.08**）【**42%**増加】  
〈変更理由〉

- ・費用対効果算出マニュアルの改訂
- ・整備スケジュールの変更



## ○進捗状況

全体 **63%**（**59%**）  
353.5/557.3（億円）  
・用地 **63%**（**61%**）  
258.8/407.8（億円）  
・工事 **63%**（**55%**）  
94.7/149.5（億円）

内事業認可区域  
全体 **78%**  
・用地 **79%**  
・工事 **74%**

# 蜻蛉池公園整備事業（開設区域）

**丘陵ゾーン**

**大芝生広場**

**花木園**

**子供の国**

**あじさい園**

**バラ園**

**広場ゾーン**

**テニス村**

テニス村

府道春木岸和田線

大芝生広場

花木園

子供の国

あじさい園

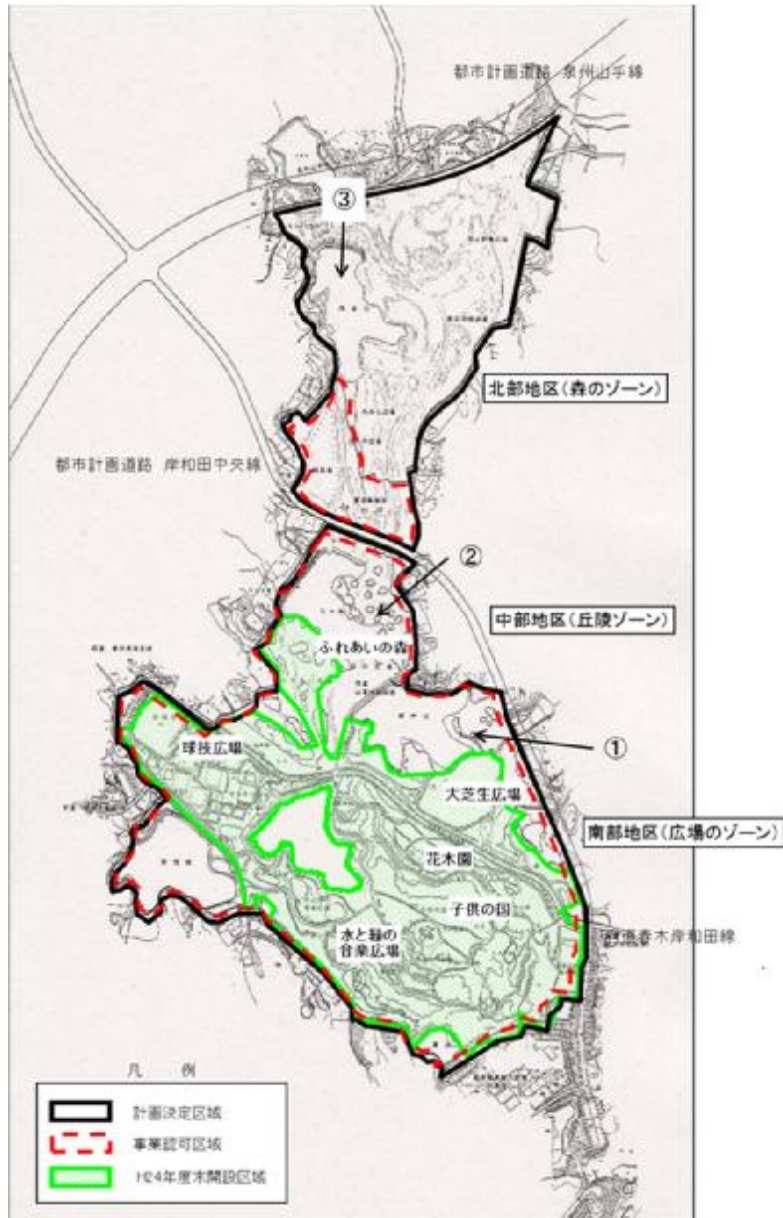
バラ園

広場ゾーン

テニス村

250m

# 蜻蛉池公園整備事業（未開設区域）



③



②



①



# 蜻蛉池公園整備事業（費用便益比の変動要因）

## ○公園事業の費用便益比(B/C)について

$$\frac{\text{総便益B}}{\text{総費用C}} = \frac{\text{直接利用価値} + \text{間接利用価値}}{\text{整備費用(用地費+施設費)} - \text{残存価値} + \text{維持管理費}}$$

(単位:百万円)

|         |        | H20 (H15)  | H25   | 主な変動要因   |
|---------|--------|--|---|--|
| 算出マニュアル |        | 「大規模公園費用対効果分析手法マニュアル」<br>(国土交通省都市・地域整備局公園緑地課監修)  | <b>改訂第2版</b><br>「大規模公園費用対効果分析手法マニュアル」<br>(国土交通省都市・地域整備局公園緑地課監修)   | マニュアルの改訂による評価手法の変更等                                |
| B/C     |        | 1.08【35,523/32,986】  | 1.53【78,608/51,394】   |  |
| B       | 直接利用価値 | 旅行費用法<br>29,453  | 旅行費用法<br>32,599   | 間接利用価値の算出方法の変更に伴う増加                                |
|         | 間接利用価値 | 代替法<br>6,070   | <b>効用関数法</b><br>46,009  |  |
| C       | 総費用    | 整備費用－ <b>残存価値</b> ＋維持管理費<br>※残存価値＝ <u>施設</u> ＋ <u>用地</u><br>総費用32,986<br>用地30,913<br>施設11,311<br>維持管理 4,160<br>(残存価値▲13,999) | 整備費用－ <b>残存価値</b> ＋維持管理費<br>※残存価値＝ <u>用地</u><br>総費用51,394<br>用地38,257<br>施設12,733<br>維持管理 6,595<br>(残存価値▲6,191) | ・残存価値控除分の減少に伴う費用の増加<br>・整備スケジュールの変更に伴う現在価値化後の費用の増加 |

- ・旅行費用法:「公園利用者は、公園までの移動費用をかけてまでも公園を利用する価値があると認めている」という前提の下で、公園までの移動費用(料金、所要時間)を利用して公園整備の価値を貨幣価値で評価する方法
- ・代替法:公園整備による人々の便益を「代替可能な市場財を購入するための費用の増加額」で評価する方法
- ・効用関数法:「公園整備を行った場合と行わなかった場合の周辺世帯の持つ望ましさ(効用)の違い」を貨幣価値に換算することで公園整備を評価する方法

# 蜻蛉池公園整備事業

## 間接利用価値の算出方法の改善

| 代替法  |   | 効用関数法   |  |
|--|---|---|--|
| 公園整備による人々の便益を「代替可能な市場財を購入するための費用の増加額」で評価する方法。  |   | 「公園整備を行った場合と行わなかった場合の周辺世帯の持つ望ましさ(効用)の違い」を貨幣価値に換算することで公園整備を評価する方法。   |  |
| 機能   | 価値の算出   | 価値  | 価値の算出  |
| <b>「都市環境の維持・改善」</b><br>①二酸化炭素の吸収<br>②微気象緩和<br>③大気汚染の抑制                                 | ①②③単位面積当たりの温帯林炭素固定量の排出権価格に代替  | <b>「環境」価値</b><br>●緑地の保存<br>●動植物の生息・生育環境の保存<br>●ヒートアイランド現象の緩和、CO <sub>2</sub> の吸収<br>●森林の管理・保全・荒廃の防止<br>●季節感を享受できる景観の提供<br>●都市携帯規制 | 全国を対象としたアンケート結果を元に推定された「環境」と「防災」のそれぞれの効用関数のパラメーターと公園の緑地・広場の面積やゾーンの世帯数や公園までの距離等を用いて算出 |
| <b>「都市防災機能」</b><br>①洪水調節・地下水涵養<br>②火災延焼の防止・遅延<br>③災害応急対策施設の確保(貯水槽)<br>④災害応急対策施設の確保(便所) | ①浸透側溝・柵の整備原価焼却費用に代替<br>②RC造建築費に代替<br>③ペットボトルの価格に代替<br>④レンタルトイレのリース料金に代替 | <b>「防災」価値</b><br>●災害応急対策施設の確保<br>●災害時の最終避難地の確保<br>●火災の際の延焼防止・遅延<br>●災害時の救援活動の場、復旧・復興の拠点の確保  |  |

代替法は、公園を代替する財を設定することが困難であることから計測された値は本来の価値に比べて過小になるため改善された。【……改訂第2版マニュアルより】